

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自治会連合会、自主防災会、防犯対策協議会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	450,000 円		助成金充当額	130,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	60人
事業内容	・ 率先避難モデル事業の推進(土砂災害危険自治会/1-1区、4区、4-1区、8-3区) ・ 8/12:大雨により新川地区にレベル3発令(土砂災害)→避難所開設活動/避難拠点要員泊まり込みで対応(3名避難) ・ 10/23:自主防災会/研修会(山大/三浦&網木先生の講演受講等) ・ 11/20:率先避難モデル3自治会の避難訓練実施(桃山中学校へ避難→参加者 約60人)			
事業目標	地域住民を主体とした避難者運営訓練を実施することにより、防災対策の意識向上を図ることや災害時の「自助・共助」の重要性について再確認する。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	率先避難モデル3自治会/避難訓練	60人	60人	
	新型コロナウイルス感染症の収束の目処がたたない中、避難所等における感染リスクを少なくするため、「宇部市避難所等の運営における感染症対策マニュアル」に基づき、「3密を防ぐ」などの新たな生活様式を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策を確認することで住民の意識向上に繋がった。			
事業効果	・ 防災意識を高め災害に強い地域づくりを推進することに貢献できた。 ・ 新型コロナウイルス感染防止対策を見据えた避難場所の運営が多少なりとも実践できたように思う。			
今後の課題等	・ 新型コロナウイルス感染防止対策として受付等での「3密回避」のため受付に手間取り、避難者を長時間またせる結果となった。今後は、受付の人員を増員する、又受付場所を増設する等の対応が必要であると考えます。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

いそじ会、文教体育委員会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	460,000 円		助成金充当額	230,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	約100人/健康教養学級
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・いそじ会：健康教室開催、友遊サロン(毎週金曜日)、健康教養学級(毎週 火木土)・友遊サロンで新競技のポッチャ、ベタンクで健康増進中。・文教体育委員会：各市スポーツ大会参加・11/21 スポーツ大会共催(コミュニティ推進協議会と合同開催)			
事業目標	<ul style="list-style-type: none">・全地区民対象→各・市開催スポーツ大会参加 ・新川地区スポーツ大会への参加・高齢者対象→いそじ会健康教室開催、いそじ会友遊サロン開催、いそじ会健康教養学級開催			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	参加者人数	200人	250人	
	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の健康意識は向上しつつあると感じる。・今後は、新型コロナウイルス環境下での小規模行事の開催検討実施が重要である。			
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・新しい生活様式的环境下での健康づくりについて検討実施した。・次年度に繋がる試みは実行できたと考える。			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">・健康増進目的の行事に積極的に参加する意識付けをすることが重要と考える。・新型コロナウイルス禍における高齢者の健康増進をいかに効果的に推進するか検討を要する。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	80,000 円		助成金充当額	80,000 円
事業対象者	新川小学校、桃山中学校、教職員等		参加人数	全生徒
事業内容	新川小学校 ・2ヵ月に1回の学校運営協議会の開催 ・誇りのもてる児童生徒の育成 ・ふるさとを愛し、夢に向かって学び続ける児童の育成 桃山中学校 ・学期に1回の学校運営協議会の開催 ・学校支援、地域貢献(地域行事開催時のボランティア活動支援/令和3年度→3地区分散清掃作業)			
事業目標	新川小学校 ・誇りのもてる児童生徒の育成 ・ふるさとを愛し、夢に向かって学び続ける児童の育成 桃山中学校 ・学校支援活動の拡大 ・月1回の学校支援ボランティア			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	学校運営協議会の開催回数		新川小学校：6回/年 桃山中学校：3回/年	新川小学校：6回/年 桃山中学校：3回/年
	計画通り開催できた。			
事業効果	新川小学校 ・学校アンケート結果により、生徒、先生、保護者の見方がどのようなものであるかが概略掴めたようである。小中一貫教育準備等推進中である。 桃山中学校 ・地域貢献への取組みが拡大しつつある。 ・ボランティア活動をすることにより地域・保護者との信頼関係が高まり将来地域活動等への参加意欲が高まると思われる。			
今後の課題等	学校運営協議会委員として、小中一貫教育や教職員の人材育成の推進を含めて、様々な角度から意見を出し、また提案することにより学校の活性化、子どもたちのより良い成長に寄与したいと考える。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	4	高齢者支援事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	990,000 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	高齢者(敬老会対象者: 75歳以上)		参加人数	・敬老会は中止 ・敬老会参列対象者1,200人
事業内容	・地区敬老会は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。敬老会参列対象者1,200人に記念品を贈呈した。 ・高齢者関連/支え合い会議の開催(9回)			
事業目標	・高齢者世帯の社会的孤立や孤独死を防ぐ。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	敬老会参列対象者への記念品贈呈	1,200人	1,200人	
	新型コロナウイルス禍で地区敬老会は開催できなかった。しなしながら、敬老会参列対象者全員に記念品贈呈を行った結果、多くの方々からお慶びの声を聞いております。			
事業効果	・新型コロナウイルス環境下のため、高齢者への見守り活動を強化することで孤独死を防げたのではないだろうか。 ・支え合い会議を9回実施し、新川地区の実情把握をするために全世帯対象のアンケートを実施することになりその質問事項等を協議することで少しでも新川地区の問題点・改善点等も浮かび上がってきた。			
今後の課題等	・令和4年度は敬老会を開催したい意向だが、新型コロナウイルスの感染状況を見極めたうえでの判断が必要である。 ・新型コロナウイルス禍においての各行事内容に工夫を凝らす必要がある。 ・自治会長等から各行事への積極的な参加の声かけを行ってもらう。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	5	ゴミ減量化事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	445,500 円		助成金充当額	214,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	各清掃活動で約50人が参加 (環境衛生連合会役員)
事業内容	・真締川・塩田川清掃活動 →春は単独で実施、秋は協議会で実施。 ・一斉空缶回収(2回) ・ポイ捨て防止啓発活動 ・地区クリーン作戦(3地区に分かれてのごみ収集作業実施) ・ごみ分別等支部研修会 ・健康衛生に関する支部研修会			
事業目標	・全地区民の環境に対する認識・理解度を向上させる。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	各清掃事業への参加者	50人	50人	
	・各自治会長、環境衛生連合会会員及び関係自治会員の環境に対する意識が向上している。			
事業効果	・新川地区民が地球環境問題に関心を少しでも持てるようになったように思う。			
今後の課題等	・清掃活動に参加する地区民が徐々に限定化されていくように感じている。幅広く多くの地区民が参加できる環境作りが今後の課題と考える。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

交通安全の会

事業名	6	交通安全指導事業		
事業期間	令和3年 5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	180,000 円		助成金充当額	30,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	その都度の参加者
事業内容	・春・夏・秋・年末年始の全国交通安全運動週間の立哨、キャンペーン活動 ・新入学児童に交通安全高揚の記念品贈呈 ・新川小4年生/自転車の安全な乗り方教室開催 ・高齢運転者への運転注意喚起運動			
事業目標	・交通事故の撲滅			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	交通事故の発生件数	0件	0件	
	・交通安全の会の会員及び見守り隊の方々の安全立哨による注意喚起等が功を奏していると考ええる。			
事業効果	・全地区民の安全意識・認識・技術の向上が図れると考える。			
今後の課題等	・ビッグデータを活用し、特に危険なゾーンについて全地区民に周知してもらうことが重要であると考ええる。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル

事業名	7	地区活性化事業		
事業期間	令和3年5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	70,000 円		助成金充当額	70,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	111人
事業内容	・土起こし：草刈り(マルチ掛け) 参加者12人 ・開講式：さつま芋植え付け 参加者14人 ・除草作業：さつま芋ツル補整と間引き 参加者14人 ・さつま芋収穫祭：新川保育園園児とさつま芋掘り体験 参加者 44人(園児27人) ・講習会：揚げ餅、大学芋 参加者14人 ・閉講式：今年度の反省と来年度の活動について 参加者13人			
事業目標	・地区の様々な課題の中から自分たちで出来ることを考え、地区民間の交流・繋がりを深めながら積極的な取組で、明るく住み良い新川のまちづくりに貢献する。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	延べ参加人数	100人	111人	
事業効果	・将来を担う子ども達との交流を通じて理解を深めることにより、明るく住み良い新川のまちづくりに貢献できる。			
今後の課題等	・指導者側は事を進ませたいことを考えすぎ、子ども達の主体性の芽を潰すことがあるように感じる。子ども達にある程度自主性を持たせる指導方法を指導者が考えることも重要ではないだろうか。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふるさと運動推進協議会

事業名	8	三世代交流事業		
事業期間	令和3年5月 ~ 令和4年 3月			
決算額	101,000 円		助成金充当額	50,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	100人
事業内容	・芋ほり研修 15人参加 ・輪飾り委員研修 12人参加 ・輪飾り作り(新川小) 100人参加 ・どんど焼き 100人参加			
事業目標	・地区の高齢者から小学生までの三世代交流を深め新川地区を見つめなおす良い機会とし、将来新川地区に貢献してくれるような人材を育成する。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	各行事の参加者	100人	100人	
	・輪飾り作りは、三世代が新川小体育館に集い、ふるさと委員の指導によりうまくできたように思う。非常に良い時間が過ごせた。			
事業効果	・将来を担う子ども達との交流を通じて絆を深めることにより、明るく住み良い新川のまちづくりに貢献できる。			
今後の課題等	・毎年同じ行事を開催するのも継続性という意味においては重要と考えるが、コロナ禍ということもあり皆で知恵を出し合い新しい生活様式での行事を模索し実行に移したいと考える。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 ③
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	9	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和3年5月～令和4年3月			
決算額	1,162,000円		助成金充当額	495,900円
事業対象者	全地区民		参加人数	夏まつり：300人
事業内容	・7/31 夏まつり開催 ・11/21 新川地区スポーツ大会開催 ・11/27 年末合同協議会開催(於：国際ホテル) ・1/4 新年互例会開催			
事業目標	・新型コロナウイルス感染防止を目的とした新しい生活様式に順応した小規模で夏まつりを開催した。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	夏まつりの参加人数	300人	300人	
	・夏まつりは、小規模ながら花火あそびを加味し開催にこぎつけた。親子の絆を深めることができた と考える。また子どもたちも良い思い出ができたのではなかろうか。			
事業効果	・主要行事は開催できなかったが、新しい生活様式に順応した小規模な行事を立案開催することで地 区民に喜んでいただいたのではないかと考える。			
今後の課題等	・新型コロナウイルスの環境下において、旧態依然としたコミュニティの主要行事優先思考を見直し、新しい 生活様式に順応した小規模行事を検討実施することが必要と考える。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③